

第 83 回横須賀市環境審議会 議事録

1 日 時

令和 7 年 3 月 18 日（火） 14 時 00 分から 16 時 02 分まで

2 場 所

横須賀市役所消防局庁舎 4 階 災害対策本部室（W e b 併用）

3 出席者

（1）環境審議会委員（16 名）

奥委員（委員長）、飯島委員、**今井委員、寛委員、川田委員、川名委員、木本委員、
工藤委員、小菅委員、高梨委員、名執委員、長谷川委員、**林委員、松本委員、松行委員、
矢部委員

※太字は会場での参加委員、それ以外はリモートでの参加委員

（2）事務局（環境政策課）職員（4 名）

出雲課長、赤城主査、池田、山川

（3）関係職員（8 名）

〔環 境 部〕 山口部長

〔経 営 企 画 部〕 都 市 戦 略 課：吉田課長、田上主任、相澤担当

〔建 設 部〕 自然環境・河川課：引本課長、内田主査、森塚担当

〔港 湾 部〕 港湾整備課ふ頭整備担当：本多担当課長

4 傍聴者

1 名

5 開 会

（1）会議資料の確認

（2）定足数について

委員 18 名中、15 名出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告
（長谷川委員は途中参加のため最終的な出席者は 16 名）

（3）会議の進め方についての説明（会場参加委員及びリモート参加委員）

6 議 事

〔議題 1〕令和 5 年度（2023 年度）年次報告書（案）について

①横須賀市環境基本計画 2030

②ゼロカーボンシティよこすか 2050 アクションプラン

③横須賀市みどりの基本計画

事務局から、各計画の年次報告書（案）について前回（素案）からの修正点を中心に説明し、質疑応答を行った。質疑応答の内容については以下のとおり。

■委員長

三つの計画に係る年次報告書（案）について、修正箇所を中心に説明いただいた。ただ今の事務局からの説明について、一括してご質問等をいただきたいと思うがいかがか。

手を挙げている方は今のところいないようなので、私から1点確認させていただきたいが、資料6のゼロカーボンシティ 2050 アクションプラン年次報告書（案）の中に、いくつか実施状況が「―（バー）」になっているところがある。

例えば23ページの海洋プラスチック問題対策、以前にももしかしたら説明があったかもしれないが、その中のアの最初に挙がっている「海洋プラスチックごみ問題啓発ポスター、クリアファイルの作成」は実績なしで実施状況が「―」になっている。また、27ページの自然生態系分野の陸域生態系で三つほど「―」がある。

この「―」の意味は、8ページの説明を見ると評価が難しい指標については「―」と記載しているということだが、先ほどの23ページの海洋プラスチックは実績なしということで、なにゆえその評価が難しいのか。もう事業自体が終了してしまったのであればその旨を明記した方がいいと思うし、ただやれていないだけであれば「―」というよりは「×」になるかもしれない。

27ページの方もいくつかバーになっているが、そもそも評価が難しい、例えばこの中の一番下の「シ. 気候変動への順応性の高い健全な生態系の保全と回復」ここはなかなか評価が難しいというのは感覚としてわかるので、定量的な指標がそもそも立てにくいということで「―」というのはいいかもかもしれないが、「オ.」や「イ.」は、「―」というよりは何かもう少しちゃんと検討しているのかしていないのか、できなかったのであればなぜなのか、そこがわかるような表記が必要かと思うが、いかがか。

■都市戦略課長

奥委員長のご指摘のとおり、まず「―」の意味合いが複数別れてしまっていて、8ページの方でそれが書ききれていないということを感じた。

例えば23ページの方で「―」となっている部分、「海洋プラスチックごみのポスター、クリアファイルの作成」というところだが、委員長ご推察のとおり令和4年度で終わっているので「―」と書いてあるが、8ページには終わっているものについては「―」ということは書いていないので、実績なしと書くよりは、委員長のご指摘のとおり、こういう理由で令和4年度で終了していると書いた方がよりわかりやすいかと思う。

また、27ページのご指摘のあった部分について、「シ.」の部分などを含め、そもそも基本方針5の気候変動の適用というところ自体がなかなか指標の設定がしにくかったり、取り組みの進捗が指標値で示しにくかったりする部分があり、「―」という形で表している。

ご指摘のとおり、検討をしたのかどうかということについてはお示しできる部分があるかと思うので、そこはきちんと書くように改めたい。

■委員長

よろしくお願ひしたい。

他の点はいかがか。

■算委員

前回も同じようなことを言ったかもしれないが、やはり進捗状況の○△が非常に分かりにくい。なぜ○になったのか、なぜ△になったのか、もちろん計画どおりだという一言があればそれでいい

のだが、例えば資料6の18ページ一番下の「自転車利用のための環境整備」、これが△になっている、いわゆる進捗状況としては目標を達成していないというように読めるが、今後の取り組みとして「用地確保について、国や県との連携を図る」とある。この辺をもう少し具体的に教えていただきたい。例えばどの組織とどう調整して、いつまでに誰がこれを担当するのかなど、その辺を教えてください。

■都市戦略課長

この内容について、どこと、というところまでは我々は把握できていないが、そもそもの○や△の部分のわかりにくいということについてはご指摘のとおりである。我々としては、今回グラフの部分について見直したが、例えば9ページ・10ページのグラフをご覧いただくと、目標値に向けて線を結んでおり、当該年度について線より下回っていれば足りない、順調に推移していないということで「△」、そして線よりも上に行っていれば、このペースで進めば目標値が達成できる、順調に進捗しているということで「○」という形で、前回のご指摘もあり、少なくとも見直しをさせていただいた。

ただし、今のご指摘のあった部分について、文字だけの部分などについては、先ほどの奥委員長の話もあったとおり「―」の部分含め、もう少し内容がはっきりわかるように記載を改めたいと考えている。理由に関してははっきり申し上げられず申し訳ないが、場所をもう少し増やしていきたいというところは、ただ置くにあたっては横須賀市の持っている場所だけではなく民間も含めたり、国や県とも調整が必要になる。用地を広げるに当たっては関係自治体や関係省庁と調整を図っていかなければならないということだけしか書いていないので、もう少しはっきりわかるように示したい。

■委員長

今のご回答について、いかがか。

■算委員

概ね良いと思う。

例えば、自転車 18,536 台、貸出ステーション 11 か所増設、これがいくつだったから駄目だとか、これを大幅にクリアしたからいいとか、そういうことを言っているのか。

■都市戦略課ゼロカーボン推進担当

8ページに関連するが、まず「(1) 指標」という計画の指標の進捗状況を○や△で表していてグラフがついているものがあるのと、もう一つ、「(2) 主な取り組み」というところで進捗状況の表現を分けているのがわかりづらくなっている原因となっている。

今ご指摘いただいた資料6の18ページは令和5年度のハローサイクルの利用状況ということで単年実績を記載しているが、こちらは令和5年度に取り組みを実施したので実施状況が「○」となっていて、結果として18,536台の貸し出しをして11か所のステーション増設をしたという実績を記載している。「実施したので○」という表記であり、いくつまで貸出ステーションの場所を増やすか、何台貸し出すかという数値目標があるパートではない。

■算委員

承知した。

■委員長

いずれにしても、特に△のところ、なぜ△なのか、一応吹き出しで今後の取り組みということを書いていただいているが、それもやはり十分に内容が伝わるようになっていない状況なので、もう少ししっかりと説明の文章を充実させていただき、△になった理由あるいは○になった理由がわかるように記述の充実をお願いしたい。

■林委員

内容のことではないが、今回紙ベースで事前送付された資料で、今説明いただいた環境基本計画2030の修正点、みどりの基本計画の修正点、ゼロカーボンの修正点とそれぞれ三つ説明していただいたが、一番最初の資料5-1は修正点についてどこを修正したかという説明の文章が一つと、資料5-2で修正された部分、例えば20~21ページなどについては、指摘された内容のどの部分が修正されたかというのが黄色いバーで説明がある。資料が大量にあるのでこれは見るのに大変都合がいい。プレゼンテーションを流していただいているが、プレゼンテーションのページと説明されているページが合わないことがあるので、見ているときにどのページになっているのかがわかりにくいことがある。

ゼロカーボンシティの方は、何ページについてという説明があったが、かなり大量にあって、なおかつ修正部分のまとめに関する資料、例えば資料6-1というようなものがなく、また、資料6の修正された部分や意見をいただいて改変した部分というところにバーも何も入っていないので、前にいただいた資料と比較をしなければならないという状況になっている。

また、みどりの基本計画の方については、資料7-1でどの部分に意見があったかということが書かれているので、それを見ながら、今回もらったものと前回のものを見ればわかるが、もし可能であれば、送られてくる資料はまだ本刷りではないので、どこが修正されたかをバーか何かでわかるようにしていただけたら今後ありがたいという意見である。

■委員長

説明資料の作成の仕方をもう少し工夫していただければというご指摘である。今回の修正箇所も改めてわかるように例えばちょっと色付けしたものを改めて送っていただきたいというご要望か。

■林委員

紙で再送付するのは大変なので、今回の場合は以前の資料とこちらを合わせたいと思うが、次回から、可能であればお願いしたい。

■委員長

次回については説明資料の修正箇所がより明確にわかるような工夫をしていただきたいというご要望なので、そちらについては事務局の方でご配慮いただきたい。

■事務局（環境政策課長）

今いただいたご意見については、次回以降そのような点がわかりやすいように、内部で調整させていただく。

■委員長

よろしくをお願いしたい。他はいかがか。

■矢部委員

資料5－1の4ページ目の基本目標2施策の柱4について、松本委員からの修正意見により、神奈川県1時間降雨水量50mm以上の年間発生回数に変更しているが、災害が増えているというか、50mm以上の発生回数が増えているという状況を見るには、やはり全国の数字を見る方が、傾向とか、見やすさという部分では、私は良いのではないかなというふうに感じた。

■委員長

全国のデータと、もちろん神奈川県のデータもせつかくあるわけなので、両方載せていただくというのは、矢部委員、いかがか。

■矢部委員

両方載せるということもあるかと思う。

ただ、今後、傾向としては増えてきているというところで、県のデータを載せる必要があるのか。ページ数の関係などもあり、入れられるのであれば入れておいてもいいと思う。

■委員長

50mm以上の降雨の発生回数の状況をしっかり見ていくという上では全国のデータの方が望ましいということか。

■矢部委員

そのとおりである。

■委員長

今のご指摘について、松本委員から、ご意見があればお願いしたい。

■松本委員

両方載せられるようであればもちろんそれがいい。身近に感じてもらうということが大事で、神奈川県のデータを私が大気分析したわけではないが、私はこれを見て増えていると思った。

いずれにしろ、両方載せられるようであれば両方をお願いしたい。

■委員長

承知した。事務局に何うが、これはスペース的には両方載せても問題はないか。

■環境政策課長

ただ今ご意見をいただいたとおり、二つ載せる形で考えたい。

■委員長

では、その方向でご検討いただきたい。

本日またいくつかご意見を出していただいたので、事務局の方で修正箇所が何か所か出てくると思うが、必要な修正を加えていただき、公表に向けた作業をしていただくようお願いしたい。

【議題2】各部会からの報告について

事務局から、令和6年12月23日開催の第18回温暖化対策推進部会及び第24回みどり政策推進部会についての報告を行い、各部会長からの補足説明ののち、質疑応答を行った。補足説明及び質疑応答の内容については以下のとおり。

■委員長

それでは、それぞれの部会の部会長から補足説明等があればお願いしたい。
はじめに、温暖化対策推進部会の松本部会長から補足説明をお願いしたい。

■松本委員（温暖化対策推進部会長）

今説明したとおりだが、二つだけ補足説明させていただく。

一つは、今回部会で議論した一つが建築物省エネ法への対応だということである。

先ほどの進捗状況のところでも、再エネを増やすということが大きな課題の一つで、進捗としても順調とは言えないということになっている。そういう意味では、建築物省エネ法というのは非常に必要不可欠だと考える。

しかし、一方で、事務局から説明があったように、これは景観にも、安全や防災といった面にも影響を及ぼすことが考えられるので、環境という側面、温暖化や省エネという観点だけでなく、もう少し幅広い視点で議論する必要があると考えている。

これは別に今回の法律だけでは本当はないのだが、やはりもう少し行政のある意味で縦割りの議論ではなくて、まちづくり全体として、省エネや環境への配慮をどうするかということを、これをきっかけに議論する方向になればいいのかなと思っている。これが一点目。

もう一つは藻場の話で、これも進捗状況のところでも順調に進捗しているわけではないことの一つとして挙げられていたが、ブルーカーボンとして藻場の保全・再生をしていくということで高い目標を掲げてはいるが、横須賀の海の状況からいくと、これは難しいということがだんだんわかってきたという中にある。

自然を私達の都合よく利用しようとしたという意味での厳しさを今受けているわけだが、今後もちろんうまく行けばいいが、なかなかうまくいかないという現実も含めて、今後の目標をどうするかということもそうだが、どうしたらいいかということをこれから考えていかなければいけない状況にあるということである。

■委員長

次に、みどり政策推進部会の高梨部会長からも補足説明をお願いしたい。

■高梨委員（みどり政策推進部会長）

会議の概要については事務局の報告のとおりだが、初めての部会だったので、幅広く意見交換をさせていただいた。

それを通じて特に議論があったのが、生物多様性地域戦略とみどりの基本計画との立ち位置をどういうふうに整理していくかということである。

とりわけ、みどりの基本計画の制度的な根拠となっている都市緑地法が昨年改正されたということもあり暮れに国の方からいろいろな方針が出たということや、生物多様性の方についても増進活動計画だとかそういうものを取り組んでいこうというような新たな動きがあるので、そういう動き

をしっかり受け止めて、これからの市としてどのように取り組むかというのを議論し、まとめていければと考えているところである。

それと、条例の方が、生物多様性の保全という概念だけではなくて、ネイチャーポジティブということで損失から回復へということなので、より積極的な取り組みをしていくということが求められているところであり、そういった観点で条例上どのように位置付けるのかということについてさらに議論をしてみたいと考えている。

■委員長

それでは、ただ今の部会報告について、ご意見・ご質問等があればお願いしたい。

■名執委員

温暖化対策推進部会へのお願いなのだが、ゼロカーボンシティよこすか2050アクションプランには地球温暖化対策として非常に適切な取り組みが挙げられていると思うが、日ごろ横須賀で暮らしていると思うのは、なぜこういう取り組みをしなければいけないのか、つまり気候変動の状況が気候危機とかあるいは地球沸騰化と言われているような本当に危機的な状況にあるんだということ、市民の皆さんに伝えていくというところが、なかなか、まだまだ十分ではないのではないかと思います。

国も、新しい削減目標やNDCを提出しているけれども、これは国際的にもまだまだのものだというふうに思うし、もう少し気候変動の今の状況を市民の方々にわかりやすく伝える取り組みを強化していただければこのアクションプランに対する市民の方々の協力も得られていくのではないかなというふうに思うのでよろしくをお願いしたい。

■都市戦略課長

名執委員のご意見のとおりだと感じている。

先ほどの実績報告も含め、わかりにくさということであったり、啓発や、協力を仰いでいくというところの伝えるところの至らなさという部分があり、やはり足りないのかなというふうに改めてご意見いただいて反省したところである。

どうしてもゼロカーボン市だけでは達成できず、市民の皆さまや企業の皆さま、団体の皆さま、もちろん我々自治体も、みんなで一丸となって取り組まなければとても達成できないというものである。

NDCの部分についてはこれからまた部会の方でも議論を進めていくところではあるが、改めて、市民・企業の皆さまに向けた啓発などの部分の取り組みを進めていきたい。特に、太陽光発電は、令和6年度から市民や中小企業の方々に太陽光パネルと蓄電池などについての補助金を、国の交付金を活用しながら進めているところなので、そういった部分を含めて取り組みを進めていきたい。

■委員長

他はいかがか。

それでは、両部会の部会長、それから委員の皆さまにおかれましては、引き続き審議・検討を進めていただくようお願いしたい。

〔議題3〕環境基本条例の見直しについて

事務局から、環境基本条例の見直しについての説明を行い、質疑応答を行った。質疑応答の内容については以下のとおり。

■委員長

環境基本条例の見直しについて、ただ今、事務局から説明があったが、事務局の方針としては、条例の運用状況は概ね良好であり、条例の見直しの必要性というものは今のところないのではないかとしたことだと思うが、委員の皆さまからのご意見・ご質問等はいかがか。

最後のスライドにあった「ご審議いただきたいこと」について、もし見直しが必要だ、こういった点について検討すべきだというようなご意見があれば、そちらも出していただきたいが、いかがか。

特に、スライドにあった高梨委員からのご意見、生物多様性保全について、そちらはみどりの基本条例の方でカバーされているということで、また部会で別途ご審議いただいているのでそちらで引き続きご検討いただくというのが事務局の回答となっている。

高梨委員、こちらの点について何かご意見はあるか。

■高梨委員

少し検討の時間があるので、これからの社会の動き全体を見ながら良い方向性を見出せたらというふうに思っている。結果的に見直しをしないという選択肢も当然あると思う。

■委員長

他の委員の皆様はいかがか。

現時点では特にご意見等ないか。

〔委員からの意見なし〕

■委員長

また新年度、令和7年度に入れば、先ほどスケジュールを示していただいたが5月に素案の審議、8月に案の審議ということで予定されているので、そこで改めてまたご審議いただくということでよろしいか。

特にご意見等ないようなので、事務局の方でも、条例の見直し作業に係る検討を進めていただくようお願いしたい。

〔議題4〕横須賀市環境基本計画2030の見直しについて

事務局から、横須賀市環境基本計画2030の見直しについての説明を行い、質疑応答を行った。質疑応答の内容については以下のとおり。

■委員長

ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問等はいかがか。

〔委員からの意見なし〕

■委員長

現時点ではよろしいか。

部会での検討内容も踏まえて環境基本計画の見直しについても検討していくということで、また今後、来年度に入ってから審議の中でご意見等をいただく機会があるかと思う。

それでは、特にないようなので、事務局の方では改定案の作成作業を進めていただくようお願いしたい。

7 報 告

〔報 告〕（仮称）横須賀港新港地区公有水面埋立事業に係る環境影響評価について

港湾部から、当該事業における環境影響評価の実施について報告し、質疑応答を行った。質疑応答の内容については以下のとおり。

■委員長

ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問等はいかがか。

■今井委員

もう終わってしまっているのかもしれないが、6ページの「調査・予測の手法」の中で、「植物・動物・生態系」という環境要素がある。この中に、水産という項目は入っているのか。

■ふ頭整備担当課長

5ページの下の方の「海域における調査位置」というのがある。調査位置については、現在いろいろな方の意見を伺った中で追加したり変更したりすることを考えているが、この中に潮間帯生物、動植物プランクトン等、魚、藻場などの調査も含まれている。

■今井委員

いわゆる漁場としての位置付けは取らなかったということか。

■ふ頭整備担当課長

漁場としての位置付けはもちろん取っている。魚については、この環境影響とは別に、水域を利用されている水域利用者さんからの意見や話を聞きながら、どこでどんな漁法でどんな魚をとっているかなど、そういったことのヒアリングはこれとは別に別途行っている。

■今井委員

承知した。

■林委員

資料にある横須賀市港湾部港湾整備課のホームページに入って、インターネットによる公表ということで実施計画書を事前に見た。このインターネットの中で見られるものの中に、今回送っていただいたパンフレットの1ページにある実施計画の内容決定までの流れの2段目・3段目に「審査会の意見」と「住民の意見」というところがあり、審査会の意見の中に「専門的知識を持つ委員が、実施計画書の内容の審議を行い、答申します」と書いてあるが、この審査会自身はもう出来上がっているのか。

また、どういう方たちがその審査会に関わっているか、例えばこの環境審議会の場合だと私達の名簿があるが、そういうものは公開にはなっていないのか。

■ふ頭整備担当課長

あくまでもこの環境影響評価については、県が主体となるため、県の方に問い合わせさせていただくということになる。

■委員長

もう少しお答えが可能かと思うが、神奈川県環境影響評価審査会というのが環境影響評価条例に基づいて設置されており、そこで審議するということになっている。私も実はメンバーになっているが、2月の審査会で、この埋立事業についての実施計画書の説明を受け、非常に多くのご意見や質問が出たところなので、それを整理していただいて、今、横須賀市の方で回答や対応を検討されているというそういう段階にあると思う。

■林委員

それについては、今後、公表されて、私達もそれを見ることができるという状況にはなるのか。

■委員長

情報は公表されていくということになる。

■林委員

県の方のURLはどこでわかるのか。

■委員長

神奈川県環境影響評価条例で検索していただきたい。今、画面共有したが、見えているか。

[神奈川県環境影響評価審査会のホームページを画面共有で表示]

■委員長

これが神奈川県環境影響評価審査会で、任期や委員など、このように多様な分野の専門家で構成されている審査会が設置されている。こちらでご確認いただきたい。

■林委員

承知した。

■飯島委員

念のため教えていただきたい。地域の安心のためということでもあるが、一部陸域も対象地になっているということで、やはり港湾部ということもあり、土地の履歴も考えたときに、空欄になっている土壌汚染のところは念のため何か調査しておくのか。

それは当然そちらの環境影響評価審査会の方で議論されると思うが、空欄になっていたのもその辺りの取り扱いの考え方について、結構港湾部だと防錆剤だとかそういうものの蓄積で鉛が出てきたりというのがあるので、そこを現状では適正に適切に土対法に基づいて盛り土を管理されているだとか、要するに1か0かではなくて、あった場合にも適切に管理された上での今回の埋立事業だというのがしっかりちゃんと説明されれば安心であるし、全くそういう心配はないという前提にあるのであれば調査項目が空欄でもいいので、念のため教えていただきたい。

■ふ頭整備担当課長

この部分については県の審査会の中でも話があった。現在この部分に入れていない理由については、受け入れる土砂は事前に土対法や海防法の環境基準の項目をクリアしたものを受け入れることを考えていたので入れていないが、今後、審査会等の知見も聞いた中で、別途追加するなど、そういったことも検討していかなければいけないと考えている。

■委員長

飯島委員、いかがか。

■飯島委員

そこに盛られるものについてはそういうことだということで、現状の陸地部分ギリギリのところ、その陸地の部分というのは改めて調査をするということはないという理解でいいか。

■ふ頭整備担当課長

陸地の部分については現在やるという予定はない。

■飯島委員

深く掘削する予定がないからという理解でいいか。

■ふ頭整備担当課長

そういうことで問題ないと思っている。

■飯島委員

承知した。

■高梨委員

今いろいろ説明を伺い、ふと疑問を感じたのだが、これは県の方の審査会のほうで取り扱っていて手続きは進んでいるということで、この環境審議会に報告する意味というのが、何を報告して委員の皆さんに意見を求めているのかということが全くわからなかった。

東電の火力発電所の立地の話などは市の環境上、非常に大きな影響を与えるということで、この審議会に事業の進捗状況等々が報告されているわけだが、これは横須賀市の自らやる事業なので審

査会に対してその理由をしっかりと報告をしていただくということで取り組んでいただければ良いので、これは環境審議会としての越権行為になるのか、その点を条例上との関係でお伺いしたい。

■事務局（環境政策課長）

今回の埋立事業については、あくまでも情報提供であり、こちらで審議をするということではない。あくまでも県の方で審議を行っているので、今回は、こういう事業を行いますという話をしたが、今後の進捗報告等は特段予定していない。また変わったら報告することはあるかもしれないが、今のところはない。

■委員長

あくまでも情報提供という位置付けだということだが、高梨委員、いかがか。

■高梨委員

承知した。時間を潰す価値があるのかどうか甚だ疑問に感じたので発言させていただいた。ちょっと嫌味的な発言になったことをお許しいただきたい。

■委員長

横須賀市自身が事業実施主体である非常に大規模な事業で、環境に関わる影響ということについてもしっかりと配慮して進めていくべき事業であるということで情報提供いただいているということである。今後も手続きが進捗し、事業計画の中身自体もより具体化していくので、適宜、情報提供は継続していただきたい。

他の委員の皆さまもよろしいか。

16時を回ろうとしているので、よろしければこの報告事項については以上とさせていただきます。

8 その他

■事務局

以下の3点について事務局から連絡

(1) 後日意見について

後日、意見があった場合には3月25日（火）（年次報告書については3月21日（金））までに事務局へ連絡をいただきたい。

(2) 次回の環境審議会の開催日程について

4月に温暖化対策推進部会、4～5月にみどり政策推進部会、5月に環境審議会を開催予定。

(3) 市役所北口駐車場利用の駐車券の処理について

9 閉会

■委員長

それでは、第83回横須賀市環境審議会を終了する。

以上